

熱田小児科クリニック 掲示板

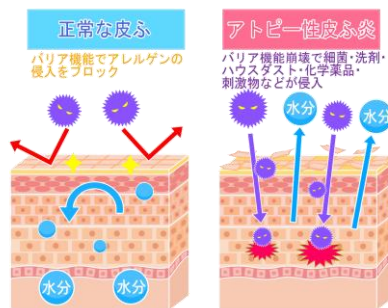
1月のテーマ 『アトピー性皮膚炎について』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

アトピー性皮膚炎とは…「増悪、寛解（悪くなったり、良くなったり）を繰り返す、**かゆみ**のある湿疹を主とする疾患であり、患者の多くはアトピー素因を持つ。」というのが定義です。

発症のメカニズム

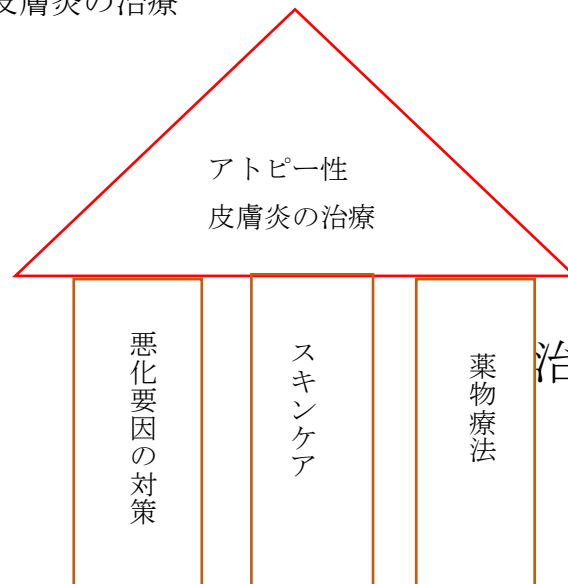
- ・ダニなどによるアレルギー反応
- ・皮膚（表皮）内の脂質の減少による乾燥とそれに伴う防御能力の低下などの皮膚自体の要因（皮膚バリア機能異常）



正常な皮膚は、皮脂膜によってバリア機能が保たれているため、外部からの様々な刺激が入ってこないようになっています。

アトピー性皮膚炎の皮膚は、バリア機能が低下しているため、外部からの刺激が簡単に皮膚の中に入ってしまいます。その結果、炎症が起きて様々な症状が現れてしまうのです。

アトピー性皮膚炎の治療



治療の基本 3 本柱

スキンケアの意義とは…

① 清潔の保持…**石鹸で洗う**

感染（ブドウ球菌など）からの防御

汗・皮脂汚れの除去

② バリア機能の保持…**外用剤を塗る**

乾燥からの防御

かゆみ予防

皮膚の保湿について

- ・季節に関係なく年間を通して続けることが大切です。毎日、繰り返し塗って皮膚を守りましょう。
- ・「嫌がって塗れない」「アトピーは良くなってきたから」と塗らないのは避けましょう。
- ・入浴後、できるだけ早く保湿剤を塗りましょう。
- ・なぜならば皮膚の角質層の水分は30分もたてば入浴直後の3分の1ぐらいまで減少します。

アトピー性皮膚炎の特徴と対策

(特徴)

(対策)

バリア機能障害



適切なスキンケアが基本

慢性的なアレルギー性炎症



ステロイド外用薬を正しく使用し炎症を抑える

多因子性疾患



アレルギーが起こりにくい環境整備

まとめ

- ・一人一人の体質や症状にあった対策を考えながら、決してあせらず、じっくりと付き合い心構えが必要です。
- ・悪化要因に対する対策、スキンケア、薬物療法が3本柱です。いろいろなコツを知りながら、上手にコントロールしていきましょう。
- ・特にプロアクティブ療法を覚えると楽になります。